



障害者雇用の促進に向け

セミナーを開催

2月23日

連合は2017春闘の課題の一つとして、「障がい者雇用の前進に向けた労使協議を」と提起しています。県中央地域連合はこの課題の具現化に向け、構成組合員だけでなく各企業・事業所の人事・総務担当者の参加も得てセミナーを開催しました。

海老名市文化会館

主催者代表である綿引議長に続き、後援いただいた綾瀬市商工会・笠間茂治会長からもご挨拶をいただきました。セミナーはスタートしました。

はじめにハローワーク大和の増田さん（雇用指導官）が登場。障害者雇用促進法の概要や課題に加え、トリアル雇用など企業が最初

の一步を踏み出すことを支援する制度について説明がありました。続いて綾瀬市内を中心に操業する栄和産業の伊藤社長が講演を行いました。様々な課題を徐々に克服しながら雇用に結びつけていった経過が実例を交えて話され、とりわけ「障害者を雇用すること、あらためて働く

働く喜びを感じさせてくれる」という言葉が、多くの参加者の心に残りました。栄和産業はモノづくりの企業ですが「できないと決めつけてはいけない」と強調され、養護学校を見学した際、生徒の実習用に自社と同様の工作機械があることを発見し、「ならば我が社の仕事も可能では」と気づかれたエピソードも紹介されました。120名規模の会社ですが現在3名（うち1名はパート）の障害者雇用対象者を雇用し、この4月に採用する2名のうち3名の正社員は対象者だそうです。

最後に県立えびな支援学校の伊藤先生から、就労に向け繰り返し丁寧に実習を行い、様々な職種を経験する中で適性を見つけ、ミスマッチを防ぐことに尽力されていることが報告されま

報告・講演いただいた方々

- | | |
|--------------------|---------|
| 障害者雇用の制度・現状と課題について | 増田しのぶ 氏 |
| ハローワーク大和 | |
| 栄和産業の挑戦 | |
| (株) 栄和産業 | 伊藤 正貴 氏 |
| 教育から就労への道すじ | |
| えびな支援学校 | 伊藤伸一郎 氏 |

第88回 4月29日(土) 県中央地域メーデー

- 9:30 バザー等開始
- 10:00 式典
- 12:15 閉会
- 東柏ヶ谷近隣公園
- 相鉄線さがみ野駅下車
- ※近隣店舗への駐車厳禁!



今年も！ タオル1本運動

メーデー会場にタオル（未使用）をお持ちください。専用受付で渡して頂ければ、今年も座間市社会福祉協議会を通じ必要とする施設に寄贈します。

次期衆議院選挙

神奈川13区



ふとり ひでし
太 栄志

連合神奈川・県中央地域連合は太栄志さんの推薦を決定しました。

※ 表記について

連合は「障がい者」と表記しています。また栄和産

した。また雇用を前提としない企業実習への協力依頼も受けたところです。最後に主催者より、これをきっかけに労使協議の議題にしていこうと提起し、閉会となりました。

業・伊藤社長の当日資料では「障害者」と記しておられました。県中央地域連合は法の名称や行政機関を参考に「障害者」と記していません。今後「どこかに合わせておけば無難だろう」という発想ではなく、その意味を共有することを基本にして、幹事会等で検討していきたいと思えます。

2017

春季生活闘争 決起集会

3月7日



「底上げ・底支え」
「格差是正」で
クラシノコアゲ
を実現しよう!
長時間労働撲滅で
ハッピーライフ
の実現を!

3月7日、春季生活闘争の勝利に向け、決起集会を開催しました。冒頭の綿引



議長挨拶の後、連合神奈川・渡部副事務局長より今春闘の情勢および特徴について報告を受けました。続いてJAM神奈川・プロ労働組合の竹内委員長が登壇。全ての労働者の暮らし底上げに向け、力強い決意表明を行いました。最後には綿引議長の音頭でガンバローを三唱し、団結を固めて閉会しました。

2月17日 連合の日「街宣行動」 クラシノコアゲ応援団

海老名駅前

2月17日4月の連合の日はクラシノコアゲ応援団として実施しています。2月のこの日は綿引議長、連合神奈川・金井副事務局長、西川弁護士、民進党・太総支部長、池田座間市議、古谷田大和市議、佐藤大和市議が次々とマイクを握り、STOP長時間労働を訴えました。



左→太総支部長、西川弁護士、綿引議長、池田座間市議

労働者自主福祉運動を推進しよう!

保障のことなら 全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

労働者が自分自身の生活を守るために始めた自主福祉運動。その柱である労金・労済も労働組合の先輩方の努力によって創設され、長い年月をかけて発展してきたものです。先行き不透明な時代であるがこそ、営利を目的としないこの事業を強化し、助け合い・支え合いの輪を広めていきましょう。



退職後のゆとりある生活のために!

退職金や企業年金の減額、公的年金受給開始年齢の引き上げや、公的年金の給付水準低下の見直しなど、組合員を取り巻く年金制度や将来やってくる老後の生活は今後大きく変化していくことが予想されます。

このような現況をふまえ、確実なセカンドライフを確保するためには、適切な商品を選択し、資産形成を行うことが重要です。なかでも個人型確定拠出年金は、2017年1月に制度改正

となった注目の制度です。(制度加入には、一定の条件があります。ご自身の職場では加入可能かどうかを確認してください。)

「ろうきん」では、本制度改正が行われたことで退職後の資金計画を再度考えていただくたいと考えています。そのために、労働組合と一緒に取組みを行い、多くの組合員へのお声掛けしております。

労働者の方が、安心して老後を過ごせるために、是非ご協力を宜しくお願いいたします。

労働者自主福祉運動の

推進に向けて

全労済神奈川県本部(神奈川労済)は2017年2月に設立60周年をむかえました。

1954年に「労働者による労働者のための共済」という助け合いの精神のもと大阪で発足し、神奈川では1957年に誕生しました。

災害が多発している昨今、全労済では「万一の際に無保障に」ならない運動をす

すすめています。

このたび、労働者自主福祉運動の充実・強化を展開している地域労福協と連携し地域労福協加盟組織の皆様へ下記の取り組みを行っています。

すでにご協力いただいている団体もありますが60周年を契機に、あらためて「労働者自主福祉運動」へのご理解とご参加をお願いいたします。



1. 住みいる共済へのご加入

災害に対する無保障者をなくす運動

2. 自賠償共済へのご加入

法律で定められている保障への未加入をなくす運動

【お問い合わせ・ご相談は】

全労済県央エリア推進課

Tel: 046-235-8891



商品の詳細・加入の条件等は中央労金ホームページ内の特別サイトをご覧ください。

https://rokin-ideco.com